

令和4年度三重県沿岸種資源評価

クロダイ

資源水準・動向

高位・横ばい



生物情報

- ・汽水域～内湾、沿岸岩礁域を単独ないし群れで泳ぎ、底生生物や付着生物などを食べる。雑食性。寿命は20歳以上で、雄は満3年、雌は満4年で成熟する。
- ・産卵期は春～初夏で、1産卵期中に分離浮遊卵を複数回産卵する。
- ・ふ化後1か月程度の浮遊生活期を経て碎波帯に着底し、アマモ場などの浅海域で育つ。
- ・伊勢湾では4月頃に来遊し、6～10月にかけて湾内に広く分布するが冬季には湾口から湾外へ移動するとの報告がある。
- ・近年では冬季にも湾内にとどまり、養殖黒のりを食べることもある。

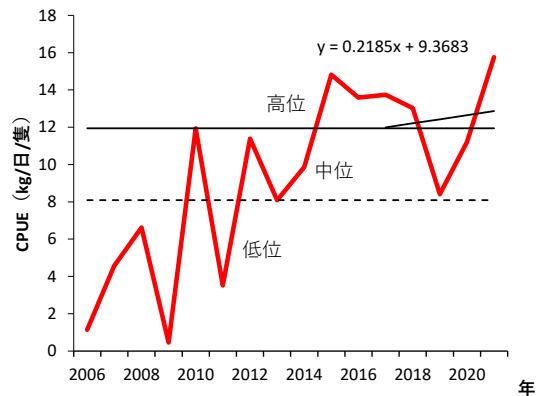
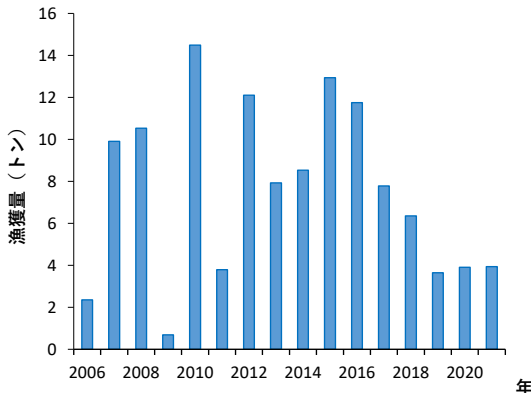
漁業の特徴

- ・伊勢湾～湾口にかけては小型底びき網や刺網、釣りで、熊野灘では定置網や釣りで漁獲されることが多い。
- ・漁獲は伊勢湾では3、4月がピークで4～6月、10～12月に多い。漁獲主体は3歳以上の大型魚。



資源状態

- ・伊勢市有滝地区の小型底びき網のCPUEから資源水準は「高位」とした。
- ・同CPUEの直近5年間の推移から資源動向は「横ばい」とした。



資源管理の取組

- ・小型底びき網(まめ板)の定期休漁、操業日数の制限

将来考えられる資源管理の取組

- ・食害生物としての側面があるため、生活史や資源変動機構を解明し、適切な資源利用と保護を組み合わせる資源豊度を一定範囲内に保つ取り組みが必要。